



暑い中での保育参観、お世話になりました



<たけ組の様子>

この度は、ひよこ・すみれ組が6月23日(月)、もも組が24日(火)、さくら組が25日(水)、たけ組が26日(木)の4日間に、1学期の保育参観を開催しました。

先週は、「ホントに梅雨？」と思わせるほど雨も降らず、連日30度超えの真夏日でしたが、この4日間は、梅雨が戻ってきたかのように、曇りや雨の天気の中で行われた保育参観でした。参観する保護者の皆様にとっては、気温的には参観しやすかったのではないかと思います。子どもたちは、保護者の皆様が見てくれているため、元気いっぱい活動していました。

進級・入学してから2か月半が経っての保育参観でしたが、集団の中で活動する我が子が、これまでできなかったことを皆と一緒に取り組めるようになっていたり、きちんと椅子に座って先生の指示を聴きながら製作していたり、友達と仲良く協力し合っていたりする姿を観ると、我が子の成長の発見や驚き、喜び、感動など、いろいろな思いが溢れた45分間であったのではないのでしょうか。



<ひよこ組の様子>



<すみれ組の様子>



<もも組の様子>



<さくら組の様子>

たくさん取れたよ～じゃがいも掘り 6/30(月)

予定の27日は前日の夜まで雨が降り続き、畑の土もベタベタな状態。子どもたちが掘るのも大変であろうと翌週に延期させていただきました。30日は梅雨が明けたかのように、前週の金曜日から暑い夏の晴れ間になり、日差しが暑い中でしたが、畑はじゃがいもを掘るにはとても良い状態になりました。

3か月前に植えたじゃがいもの種いもから成長し、たくさんの葉を付けた茎も太くなっています。「じゃがいもできているかな」と、子どもたちはちょっと心配しながら土の感触を確かめ、丁寧に掘り始めます。大きな芋や小さな芋がたくさん土の中から見えてくると、「じゃがいもがあった～」と、思わず笑顔になって、掘る手にも力が入ります。「やった～、こんなに大きいよ」やっと掘り出せて大喜びの子ども。始めは、土の中に手を入れるのをためらっていた子どもも、周りの友達がたくさん収穫していくと、自分もとばかりに土の中に手を入れて収穫に熱が入ります。

自分で育てたものを収穫して食べる経験は、食育では大事なことです。このような経験を通して、食べ物への関心を高め、望ましい食習慣につながるとよいと思います。

子どもたちが今回収穫したじゃがいもを後日持ち帰らせますので、親子で、一緒に料理して召し上がっていただくと、子どもたちはさらに喜ぶと思います。

